

パスカル

2014 年本試

問 3 パスカルの思想の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

31

- ① 人間には外的なものから受ける影響で様々な情念が生じるが、人間は、自らの意志によってそれらの情念を支配し、自分の行動を決定していくことができる高邁の精神をもつと考えた。
- ② 考えることに人間の尊厳を見だし、特に、人間のあり方や事柄の本質を捉えるためには、推理や論証を行う能力だけではなく、直観的に物事を把握する能力が必要であるとした。
- ③ 人間にはその本性や感覚によって誤謬や錯覚が生じるが、実験と観察を通じて得られた知識によって、それらを取り除き、自然の一般的な法則を捉えることで、自然を支配できると考えた。
- ④ 自己自身を形成することに人間の尊厳を見だし、特に、人間が自分の生き方を選択し、自らの存在のあり方を決定するためには、各自の自由意志が必要であるとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 3	31	②	3

2014 年追試

問 4 西洋近代思想における，キリスト教や神，信仰の捉え方についての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① パスカルは，実存的生き方の最高段階を「宗教的実存」と呼び，偉大さと悲惨さの間を揺れ動く人間の不安定なあり方を直視しつつ，神の愛のもとに生きることの大切さを説いた。
- ② ルターは，教会を通じてこそ信仰が成り立ち，救済がなされるという従来のキリスト教のあり方を批判して，聖書を通じて一人ひとりが直接神と向き合う信仰の重要性を唱えた。
- ③ スピノザは，「神即自然」，すなわち神は無限で永遠の唯一の実体であり，自然そのものであるとして，すべての事物を，神を表現するものとして「永遠の相のもとに」見ることの重要性を主張した。
- ④ ウェーバーは，プロテスタンティズムの禁欲的な職業倫理が資本主義の精神を生み出したと考え，キリスト教信仰と近代産業社会の関係について新たな捉え方を示した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	32	①	3

2012 年追試

問 4 パスカルが人間をどのように捉えていたかについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 人間は，天使でも鳥獣でもなく，偉大と悲惨の両極の間を揺れ動く，無とすべてとの中間者である。
- ② 人間は，「考える葦」として思考を通して宇宙を包み込む偉大な存在であり，自然の支配者である。
- ③ 人間は，身体・精神・愛という三つの秩序をもち，弁証法的な思考の力によって自己の限界を超えることができる。
- ④ 人間は，自己の悲惨さから神の愛によって救われるために，神から与えられた職業を全うする。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 4	25	①	3

2009 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

は、人間を偉大さと悲惨さの間をさまよう中間者と定義して、人間は自らの有限性について深く考えをめぐらしつつ謙虚に生きるべきこと、また、そこにこそ人間の真の偉大さと高貴さが発揮されることを説いた。

- ① エラスムス ② デカルト ③ ベーコン ④ パスカル

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	23	④	2

2007 年 追試

問 5 「気晴らし」についてのパスカルの考えとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 人生で私たちが行う選択は賭けのように不確実であり，神の信仰に賭けることも，それ以上に不確実で，「気晴らし」以外の何ものでもない。
- ② 賭けや娯楽などの「気晴らし」は，孤独で不安に満ちた人生から目をそらさせてくれるが，ついには自分を見失わせてしまう。
- ③ 人間は，「気晴らし」の賭けで翻弄される生活を営むのではなく，神の存在を理性で証明することにより神への信仰に生きなければならない。
- ④ 人間の自由は必然性の洞察に従って行為することにあり，私たちは偶然性に左右される賭けで「気晴らし」をすべきではない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	25	②	3

2006 年追試

問 7 カントと同様，人間の尊厳についての重要な思想を展開した思想家にパスカルがいる。彼は「人間はひとくきの ^{あし} 葦 にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だが，それは考える葦である」と書いているが，この文章の意味として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 人間は，広大な自然の中であって，ひとくきの葦のように小さな存在である。しかし，人間は思考し，自分が死ぬことも宇宙の広大さも知っている故に偉大である。
- ② 人間は，広大な自然の中であって，ひとくきの葦のように小さな存在である。しかし，人間は個人としては弱くても，思考により知恵を発揮し，社会制度を形成して強くなりうる存在である。
- ③ 人間は，広大な自然の中であって，ひとくきの葦のように小さな存在である。しかし，人間は，死にのぞむ存在として日常生活の中で真の生き方を思考する立派な存在である。
- ④ 人間は，広大な自然の中であって，ひとくきの葦のように小さな存在である。しかし，人間は技術を発展させる思考によって自然的弱さを補っている故に偉大である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	28	①	3

2004 年本試

問 5 生と死に関して、次のア～ウはそれぞれ 誰^{だれ} の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 34

- ア 人間は、死や苦しみなど、自分の力ではどうすることもできない状況に直面したときに、その不安と絶望を越えて、超越者に出会い、しかも他の実存との「愛しながらの戦い」によって連帯することで、真の実存に目覚める。
- イ 人間も生物であり、生きるために他の生き物を傷つけざるをえない。しかし、倫理的な存在として、人間はすべての生命ある存在を愛さなければならない。この 葛藤^{かつとう}の中で各人の責任において行動を決定するのである。
- ウ 人間は、身体的存在としては、圧倒的に優勢な宇宙に比べ、きわめて無力で卑小である。だが、人間は理性的存在であり、自分が死ぬことを知っている。考え、知ることによって人間は偉大である。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|----------|---|-------------|
| ① | ア | サルトル | イ | ガンディー | ウ | エラスムス |
| ② | ア | ヤスパース | イ | シュヴァイツァー | ウ | パスカル |
| ③ | ア | キルケゴール | イ | ガンディー | ウ | ピコ・デラ・ミランドラ |
| ④ | ア | サルトル | イ | ヘーゲル | ウ | ピコ・デラ・ミランドラ |
| ⑤ | ア | ヤスパース | イ | シュヴァイツァー | ウ | エラスムス |
| ⑥ | ア | キルケゴール | イ | ヘーゲル | ウ | エラスムス |
| ⑦ | ア | サルトル | イ | ガンディー | ウ | パスカル |
| ⑧ | ア | ヤスパース | イ | ヘーゲル | ウ | パスカル |
| ⑨ | ア | キルケゴール | イ | シュヴァイツァー | ウ | ピコ・デラ・ミランドラ |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	34	②	3

2004 年 追試

問 4 パスカルは多くの警句をのこしている。そのうち、習慣について述べた警句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 人間はひとくきの ^{あし} 葦 にすぎない。自然の中で最も弱いものである。だが、それは考える葦である。
- ② 川一つで仕切られる ^{こっけい} 滑稽 な正義よ。ピレネー山脈のこちら側での真理が、あちら側では ^ご ^{びゅう} 誤謬 である。
- ③ クレオパトラの鼻。それがもっと短かったなら、大地の全表面は変わっていただろう。
- ④ 人間は、天使でも、獣でもない。そして、不幸なことには、天使のまねをしようと思うと、獣になってしまう。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 4	13	②	3

2001 年追試

問 5 次の文章は、パスカルが『パンセ』の中で、人間を「考える^{あし}葦」にたとえて書いたものである。その意味を記述したものと最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

15

人間は一本の葦にすぎない。自然の中で最も弱いものである。だが、それは考える葦である。これを押しつぶすために、宇宙全体が武装する必要はない。……しかし、たとえ宇宙が人間を押しつぶすとしても、人間は人間を殺すものより高貴であるだろう。なぜなら、人間は自分が死ぬこと、宇宙が自分よりも優勢であることを知っているからである。宇宙はそれについて何も知らない。

- ① 人間は自然の中にその起源をもつ存在である。だが、その自然を考える力をもつ人間は神の似姿であって、そこに人間の尊厳がある。
- ② 人間はそもそも無力で孤独な存在である。だが、合理的な思慮によって人間は社会の形成へと向かい、そこに人間の尊厳がある。
- ③ 人間は定めなく思考を浮遊させる存在である。だが、自然の一部として大地に根づいて生きるところにこそ人間の尊厳がある。
- ④ 人間は自然の中で最も無力な存在である。だが、その自然全体を包み込むことができる思考のうちに人間の尊厳がある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	15	④	3